

密教美術の凶像学

もり まさひで
森 雅秀 著

▼A5判・上製カバー・五二二頁・本体二〇、〇〇〇円十税

2017年2月刊行



凶像解釈学に基づきインド・チベット・ネパールを中心としたアジアの密教美術を網羅的に考察し、従来の密教美術研究の通説を覆す。

【目次】

- 第一部 凶像を解釈するために**
第一章 テキストを読む・凶像を読む
第二章 仏教学と凶像研究
- 第二部 インドにおける密教美術の形成**
第一章 密教仏の形成
第二章 オリッサ州カタク地区出土の四臂観音立像
第三章 インドの不空罽索観音
第四章 エローラ第11窟、第12窟の菩薩群像
- 第三部 密教仏のイメージの展開**
第一章 十忿怒尊のイメージをめぐる考察
第二章 賢劫十六尊の構成と表現
第三章 チベットの大日如来
第四章 ネパールの大日如来
第五章 般若波羅蜜の凶像
- 第四部 マンダラの形が表すもの**
第一章 マンダラの形態の歴史の変遷
第二章 観想上のマンダラと儀礼のためのマンダラ
第三章 サンヴァアラマンダラの凶像学的考察
第四章 時輪マンダラの墨打ち法

第五部 忿怒尊と女尊の凶像学

- 第一章 感得像と聖なるものに関する一考察
第二章 仏教における殺しと救い
第三章 鬼子母神における母と子のイメージをめぐる考察
第四章 インド神話に見る残酷な美女の凶像学
第五章 地獄絵に見る死とグロテスクのイメージ
文献一覧／凶像一覧／初出一覧

あとがき 索引

■著者紹介

一九六二年生まれ。名古屋大学大学院文学研究科中退。ロンドン大学大学院修了。Ph.D.一九九九年高野山大学文学部助教授、二〇〇一年金沢大学文学部助教授、二〇〇七年金沢大学文学部教授、二〇〇八年金沢大学人間社会研究域教授（改組により所属部局名変更）を経て、現在に至る。仏教文化史、比較文化学を専門とする。主な著書に、『生と死からはじめられるマンダラ入門』（法蔵館）、『エロスとグロテスクの仏教美術』（春秋社）、『チベットの仏教美術とマンダラ』（名古屋大学出版会）、『インド密教の儀礼世界』（世界思想社）、『仏のイメージを読む』（大法輪閣）ほか多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
森 雅秀 著	法蔵館
ISBN : 978-4-8318-6369-0 C3015	本体二〇、〇〇〇円十税
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・美術史